

# 株主通信

2009年3月期第2四半期

2008年4月1日～2008年9月30日

CLOSE UP

合成樹脂第二本部

シート・成形材グループ

スポーツ資材チーム

創業者 稲畑勝太郎 著

「欧亜に使用して」より

株主の皆様には益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社の2008年4月から9月までの事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の日本経済は、米国に端を発する金融不安や同国の景気悪化をきっかけとする世界経済の減速を受け、厳しい局面となりました。

こうした中、液晶関連商品を軸とする情報電子事業に加え、高付加価値品を中心とする合成樹脂事業に注力した結果、4月から9月までの連結ベースの売上高は2,570億7千8百万円、営業利益は35億8千4百万円、経常利益は43億6百万円となった一方、英国の製造子会社の生産活動停止に伴う特別損失等を計上したため、4億7百万円の当期純損失となりました。

事業面ではシナジー効果重視の再構築を一層進め、コーポレート・ガバナンスでは内部統制の強化を推進しました。

また今後の成長が見込まれるインドでのビジネス開発を強化するため、ニューデリーに現地法人を設立しました。

今後も成長分野への経営資源の集中を図る一方、財務体質の強化を推し進めてまいり所存ですので、何卒、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

稲畑勝太郎

2008年12月

# ファイナンシャル ハイライト(連結)

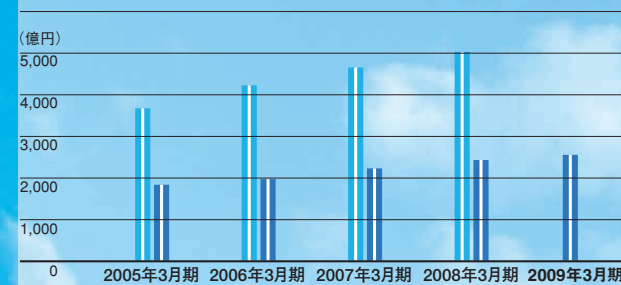
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 業績の推移

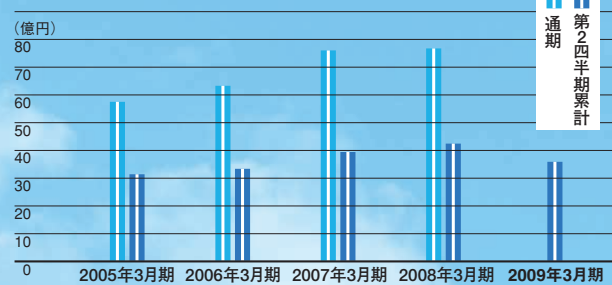
決算年月	(単位)	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期 第2四半期累計
売上高	(百万円)	369,761	423,374	466,096	500,019	257,078
営業利益	(百万円)	5,745	6,339	7,605	7,659	3,584
経常利益	(百万円)	9,170	7,572	7,325	7,795	4,306
四半期(当期)純利益(△は純損失)	(百万円)	5,968	4,638	4,570	2,922	△ 407
純資産額(注2)	(百万円)	59,581	78,457	83,891	78,163	73,693
総資産額	(百万円)	210,478	269,590	287,808	284,637	280,939
1株当たり純資産額	(円)	1,012.71	1,253.77	1,276.44	1,184.90	1,117.34
1株当たり四半期(当期)純利益(△は純損失)	(円)	104.34	75.04	72.76	44.98	△ 6.25
自己資本比率(注3)	(%)	28.3	29.1	28.7	27.1	25.9
1株当たり配当額	(円)	6.0	(注1)23.0(17.0)	12.0	10.0	5.0

(注1) 2006年3月期1株当たり配当額23.0円には特別配当17.0円を含んでおります。(注2) 2007年3月期より純資産額には繰延ヘッジ損益、新株予約権および少数株主持分を含んでおります。(注3) 2007年3月期より自己資本比率は(純資産合計-新株予約権-少数株主持分)/総資産の算式で計算しております。

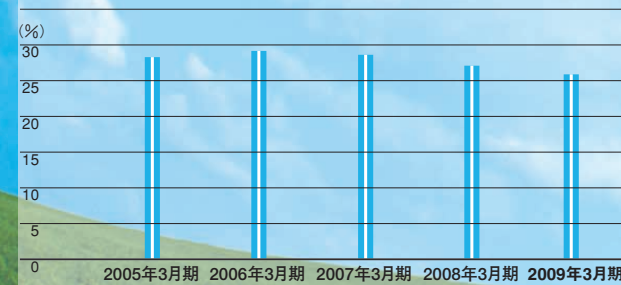
## 売上高



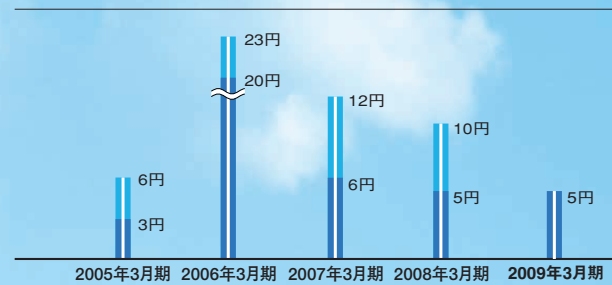
## 営業利益



## 自己資本比率



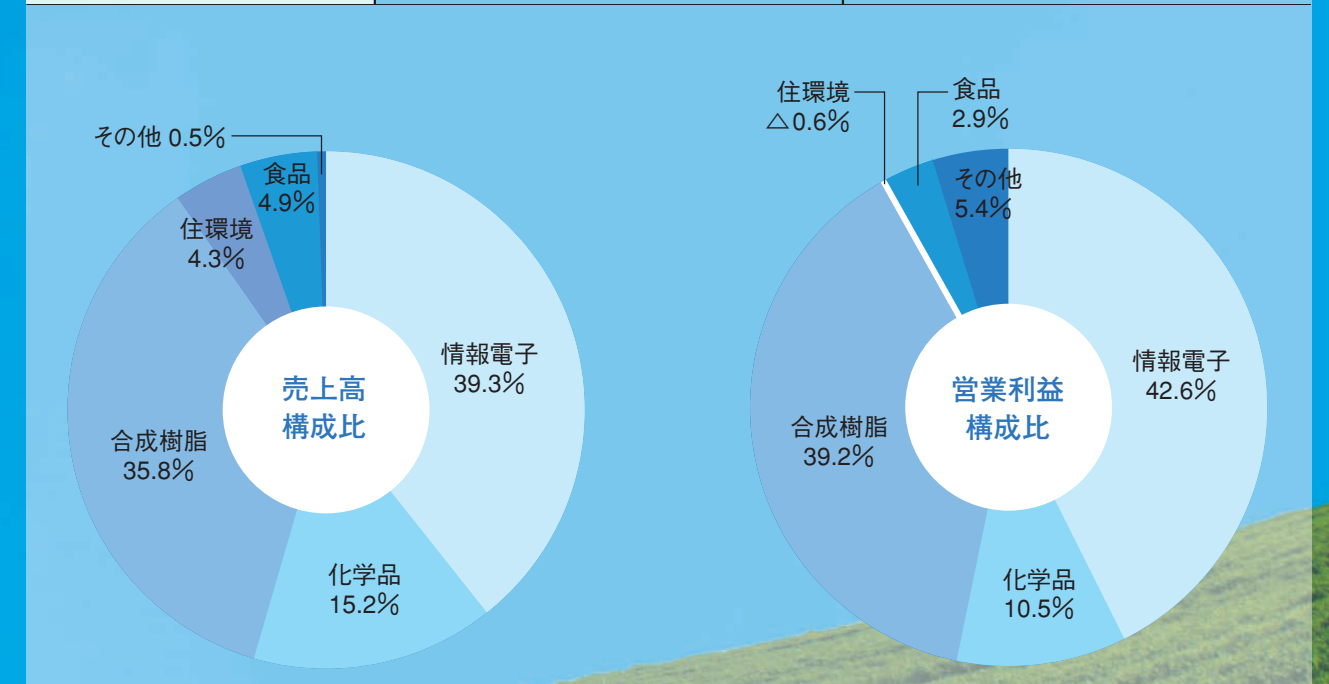
## 1株当たり配当額



## セグメント別売上高と営業利益 (2008年4月1日から2008年9月30日まで)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
情報電子	101,144	1,527
化学品	39,082	374
合成樹脂	91,914	1,406
住環境	11,006	△ 22
食品	12,542	105
その他	1,388	191
合計	257,078	3,584



## 連結財務諸表

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### ■連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 2008年9月30日現在	前期 2008年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	203,194	201,927
現金及び預金	4,878	6,716
受取手形及び売掛金	154,680	155,019
商品及び製品	28,961	27,745
仕掛品	893	933
原材料及び貯蔵品	3,357	2,740
その他	11,727	10,087
貸倒引当金	△ 1,303	△ 1,314
固定資産	77,744	82,709
有形固定資産	12,860	14,780
無形固定資産	3,463	3,682
のれん	532	982
その他	2,930	2,699
投資その他の資産	61,420	64,246
投資有価証券	54,563	57,581
その他	10,768	10,454
貸倒引当金	△ 3,911	△ 3,789
資産合計	280,939	284,637

科目	当第2四半期 2008年9月30日現在	前期 2008年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	180,118	179,666
支払手形及び買掛金	101,146	101,876
短期借入金	69,862	67,469
未払法人税等	1,294	3,404
賞与引当金	1,011	977
その他	6,803	5,938
固定負債	27,128	26,807
長期借入金	8,600	10,547
退職給付引当金	496	558
役員退職慰労引当金	21	19
事業整理損失引当金	2,843	—
負ののれん	304	385
その他	14,861	15,297
負債合計	207,246	206,473
(純資産の部)		
株主資本	53,635	54,607
資本金	9,364	9,364
資本剰余金	7,708	7,708
利益剰余金	36,615	37,586
自己株式	△ 52	△ 52
評価・換算差額等	19,090	22,516
その他有価証券評価差額金	19,893	21,383
繰延ヘッジ損益	△ 146	△ 89
為替換算調整勘定	△ 656	1,222
新株予約権	—	58
少数株主持分	966	981
純資産合計	73,693	78,163
負債及び純資産合計	280,939	284,637

### ■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前第2四半期累計 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
売上高	257,078	243,397
売上原価	241,425	227,205
売上総利益	15,653	16,192
販売費及び一般管理費	12,069	11,955
営業利益	3,584	4,236
営業外収益	1,847	1,690
営業外費用	1,125	1,594
経常利益	4,306	4,333
特別利益	115	183
特別損失	3,350	1,499
税金等調整前四半期純利益	1,071	3,017
法人税、住民税及び事業税	1,301	1,985
法人税等調整額	104	△ 413
少数株主利益	72	80
四半期純利益(△は純損失)	△ 407	1,364

(注) 2009年3月期より、財務諸表作成に関する会計基準が変更されております。

株主の皆様の利便性を考慮し、ファイナンシャルハイライト(連結)と連結財務諸表のページにつきましては、2008年3月期以前に関する情報は参考として記載しております。

### ■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前第2四半期累計 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,954	2,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	197	△ 493
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,338	△ 1,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 400	266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,818	944
現金及び現金同等物の期首残高	6,671	6,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,852	7,256
現金及び現金同等物の四半期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		
現金及び預金勘定	4,878	7,284
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 25	△ 27
現金及び現金同等物	4,852	7,256

## 会社情報

### ■役員

代表取締役会長	稲畑 勝雄	執行役員【住環境本部本部長】	(2008年11月1日現在)	佐藤 精一
代表取締役社長 社長執行役員	稲畑 勝太郎	執行役員【内部監査室室長】		浅海 雅明
代表取締役 常務執行役員	中野 佳信	執行役員【リスク管理室室長・ 情報システム室室長補佐】		北村 城一郎
代表取締役 常務執行役員	大槻 延広	執行役員【化学品本部本部長】		久朗津 成孝
取締役 常務執行役員	西村 修	執行役員【経営企画室室長補佐・大阪本社担当】		隅谷 康二郎
取締役 執行役員	金子 證	執行役員【食品本部本部長】		本多 義和
取締役 執行役員	菅沼 利之	執行役員【海外事業統括室室長】		岩上 潤
取締役 執行役員	横田 健一	執行役員【東南アジア総支配人】		尾崎 一郎
取締役	廣瀬 博	執行役員【欧州総支配人】		上杉 隆
常勤監査役	高橋 幸貫	執行役員【情報画像本部本部長】		赤尾 豊弘
常勤監査役	星田 正嗣	執行役員【情報システム室室長】		柴田 浩典
監査役	新川 政次郎	執行役員【合成樹脂第一本部本部長】		望月 卓
監査役	井原 實	特別嘱託【米州総支配人】		藤田 卓

(注1) 取締役 廣瀬 博は社外取締役であります。

(注2) 監査役 新川 政次郎および井原 實は社外監査役であります。

### ■会社の概要

会社名	● 稲畑産業株式会社	(2008年9月30日現在)
創業年月日	● 1890年10月1日	
設立年月日	● 1918年6月10日	
資本金	● 93億6千4百万円	
従業員数	● 537名(グループ会社への出向者を含む) 〔連結:3,646名〕	
大阪本社	● 大阪市中央区南船場一丁目15番14号	
東京本社	● 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号	
名古屋支店	● 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号	
営業所	● 松本営業所、三重営業所 九州営業所(霧島市)	

### ■株式情報

【発行可能株式総数】	200,000,000株	(2008年9月30日現在)
【発行済株式の総数】	65,159,227株	
【株主数】	4,750名	
【大株主の状況】		

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
住友化学株式会社	13,836	21.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,784	5.8
野村証券株式会社	2,528	3.9
ジェーピー モルガン チェース バンク 385093	2,275	3.5
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505019	1,917	2.9
みずほ信託 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	1,736	2.7
ジェーピー モルガン チェース バンク 385078	1,403	2.2
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,385	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,350	2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,191	1.8

(注)1. 出資比率は自己株式数(68,913株)を控除して計算しております。

2. 「みずほ信託 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託」は、株式会社みずほ銀行が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については株式会社みずほ銀行の指図により行使されることになっております。

#### 【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】

2009年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

### ■株主メモ

事業年度	● 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	● 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

定時株主総会 ● 毎年6月開催  
上場証券取引所 ● 東京・大阪証券取引所 市場第1部  
証券コード ● 8098  
単元株式数 ● 100株  
公告の方法 ● 電子公告 当社のホームページに掲載します。  
http://www.inabata.co.jp/koukoku  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

会計監査人 ● 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号  
銀泉備後町ビル あずさ監査法人

株主名簿管理人 ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 ● 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) ● 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ● (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417  
(その他のご照会) ☎0120-176-417

(ホームページURL) ● http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

同取次所 ● 住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

#### 【株券電子化前後の単元未済株式の買取・買増請求のお取扱いについて】

<買取請求>

特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(2009年1月5日)から2009年1月25日まで、受付を停止いたします。また、2008年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金のお支払は2009年1月26日以降となります。

<買増請求>

2008年12月12日から2009年1月4日まで、受付を停止いたします。また、特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(2009年1月5日)から2009年1月25日まで、受付を停止いたします。

稲畑産業の創業者、稲畑勝太郎は1926(大正15)年12月、財界代表としての仏領インドシナ訪問とジュネーブで開かれた第10回国際労働会議に出席するため、さらには諸外国との通商貿易を促進し、日本経済の海外展開の可能性を探るべく約8カ月間の外遊に出発しました。そして1929年、外遊中の手記を「欧亜に使用して」として出版し、同年天皇后両陛下にも献上されました。ここでは、創業者の足跡をたどりながらその一節をご紹介します。

1890-2010  
120  
YEARS



### 海防(ハイフォン)の第一印象

船から上ると、埠頭には、内外人がずらりと並んで、一行を出迎えていた。

知った顔もあり、知らぬ顔もあり、一様に交わす温かい握手と心からなる歓迎の言葉とは、遠来東海の旅客に、如何に深い感銘を与えたことであろう。

海防の港は、红河の河口から二十二里の上流にあるが、低水時でも吃水二十四尺までの船が、自由に入出りできるから少しの不便もない。

市街は現地人街とフランス人街とに分かれている。現地人街は市の北部一帯を占め、フランス人街は旧ボンナル運河に隣接し、路の両側には緑滴る街路樹が植えられ、大厦軒を列ねて、瀟洒たる文明都市の体を成しているのは気持ちがいい。

大正15年12月21日

於 Haiphong, Vietnam

(本文より抜粋。仮名遣いなどは現代語に改めております。)



当時のハイフォン、フランス人街のイメージ



現在のハイフォン港

### Inabataとハイフォン



現在のハイフォンは人口約171万人、日系メーカーが多数進出するこの一大港湾都市には、稲畑産業グループの樹脂コンパウンドネットワークの一つ、SIK Vietnam Co., Ltd.があります。同社は主にOA向け樹脂等の加工、販売を行っています。

### 海を渡った稲畑家蔵書

この度当社は、稲畑家の蔵書から約2,500冊をベルギーのルーヴァン・カトリック大学東方図書館に寄贈しました。

この蔵書は、明治から昭和中期にかけて刊行された書籍類で、文化・社会書、小説や辞書などその範囲は幅広く、また洋書も多数含まれています。



寄贈された書籍の一部。(東方図書館閲覧室にて)

ルーヴァン・カトリック大学は、1425年創立。ベルギーの首都ブリュッセルから東に車で30分ほどの街Leuven(ルーヴァン)に位置しています。現存する最も古いカトリック総合大学のひとつで、人文主義者エラスムスなどが教鞭をとり、地理学者メルカトル、解剖学の祖アンドレアス・ヴェザリウスなど名だたる研究者を輩出しました。1928年には



書籍が寄贈された中央図書館。2Fが東方図書館

日本学科が設置され、ヨーロッパにおける東洋学を牽引してきました。

今回稲畑家の蔵書が寄贈された東方図書館は、キャンパスの中心部にある中央図書館内にあります。寄贈書は、「Inabata Family Collection」として分類され、学生や研究者はもちろん、興味を持つ全ての人々に図書館の蔵書の一部として公開されています。



東方図書館の入口。館内は約52,500冊におよぶ中国、日本、韓国に関する蔵書が並ぶ

滑り止めテープ

## 企画から製品の パッケージングまで 一貫して製造



グリップテープ

稲畑産業では、テニスラケットのグリップに使用する滑り止めテープの企画から製品のパッケージングまでを一貫して手掛けています。

当社が独自開発したテープは国内だけでなく海外各地でも販売されており、世界大会などで活躍する多数の著名プレーヤーにご愛用いただいています。

このテープはしっとり感が特長で、グリップを握った際、手のひらに密着した感触が得られます。



テーピングテープ

顧客ニーズにきめ細やかに応えるため、提携先のメーカーと試行錯誤を重ねながら製品開発を行い、常に独自性の高い製品づくりを目指しています。

スポーツ資材チームではこのほかにもサポーターやテーピングテープなどを取り扱っています。今後とも皆様の健康で快適な生活に貢献できるような商品を提供してまいります。



### ●ビジネスモデル

